

国際

外国との比較

1 政策方針決定過程への女性の参画

スイスの非営利財団「世界経済フォーラム」が独自に算定した男女格差を図る指数 GGI (ジェンダーギャップ指数) では、2013年日本は135か国中105位であり、特に経済及び政治の分野において、遅れが目立っています

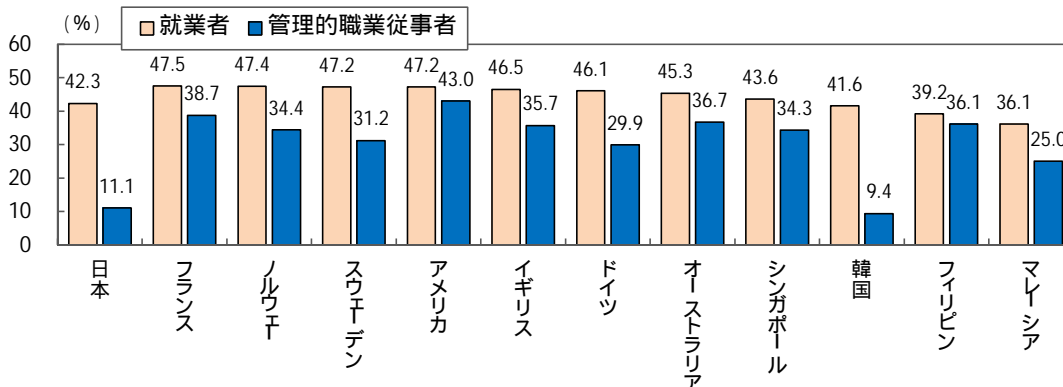
就業の分野では、就業者の女性割合は他国と比べほぼ同じ水準ですが、管理的職業従事者の女性割合は、他国が3～4割に対し、日本と韓国は1割程度に留まっています。

図表88 ジェンダーギャップ指数

2013年の順位	国名	総合スコア	経済	教育	健康	政治	2012年
1	アイスランド	0.8731	0.7684	1.0000	0.9696	0.7544	1
2	フィンランド	0.8421	0.7727	1.0000	0.9796	0.6162	2
3	ノルウェー	0.8417	0.8357	1.0000	0.9697	0.5616	3
4	スウェーデン	0.8129	0.7829	0.9977	0.9735	0.4976	4
5	フィリピン	0.7832	0.7773	1.0000	0.9796	0.3760	8
6	アイルランド	0.7823	0.7450	0.9988	0.9737	0.4115	5
7	ニュージーランド	0.7799	0.7797	1.0000	0.9697	0.3703	6
8	デンマーク	0.7779	0.7639	1.0000	0.9739	0.3738	7
9	スイス	0.7736	0.7681	0.9919	0.9733	0.3610	10
10	ニカラグア	0.7715	0.6218	0.9996	0.9758	0.4889	9
14	ドイツ	0.7583	0.7120	0.9818	0.9780	0.3611	13
18	イギリス	0.7440	0.7320	0.9994	0.9698	0.2747	18
19	オーストリア	0.7437	0.6642	1.0000	0.9787	0.3318	20
23	アメリカ	0.7392	0.8185	1.0000	0.9792	0.1593	22
24	オーストラリア	0.7390	0.7879	1.0000	0.9735	0.1945	25
45	フランス	0.7089	0.6690	1.0000	0.9796	0.1870	57
58	シンガポール	0.7000	0.7883	0.9409	0.9719	0.0989	55
69	中国	0.6908	0.6752	0.9880	0.9398	0.1604	69
105	日本	0.6498	0.5841	0.9757	0.9791	0.0603	101
111	韓国	0.6351	0.5036	0.9592	0.9730	0.1046	108

資料出所:世界経済フォーラム「The Gender Gap Report 2013」

図表89 就業者及び管理的職業従事者に占める女性の割合



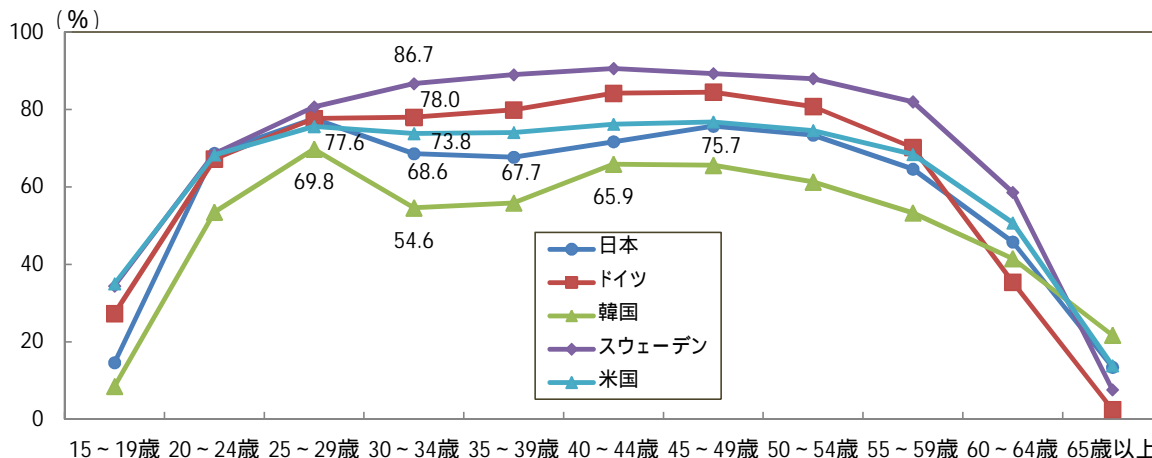
資料出所:内閣府 平成25年度版 男女共同参画白書

(備考)1. 総務省「労働力調査(基本集計)」(平成24年)、独立行政法人労働政策研究・研修機構「データブック国際労働比較2012」より作成。
 2. 日本は平成24年度、オーストラリアは2008(平成20)年、その他の国は2010(平成22)年のデータ。
 3. 総務省「労働力調査」では、「管理的職業従事者」とは、就業者のうち、会社役員、企業の課長相当職以上、管理的公務員等をいう。「管理的職業従事者」の定義は国によって異なる。
 4. 総務省「労働力調査」では、平成24年1月結果から、算出の基礎となる人口が24年国勢調査の確定人口に基づく推計人口(新基準)に切り替えられている。

2 就業の分野における男女共同参画

日本では依然として結婚，出産，子育て期に就業を中断する女性が多くおり，これをいわゆる「M字カーブ」といいます。同様のM字カーブが見られる国は韓国以外にはありません。

図表90 女性の年齢階級別労働力率の国際比較

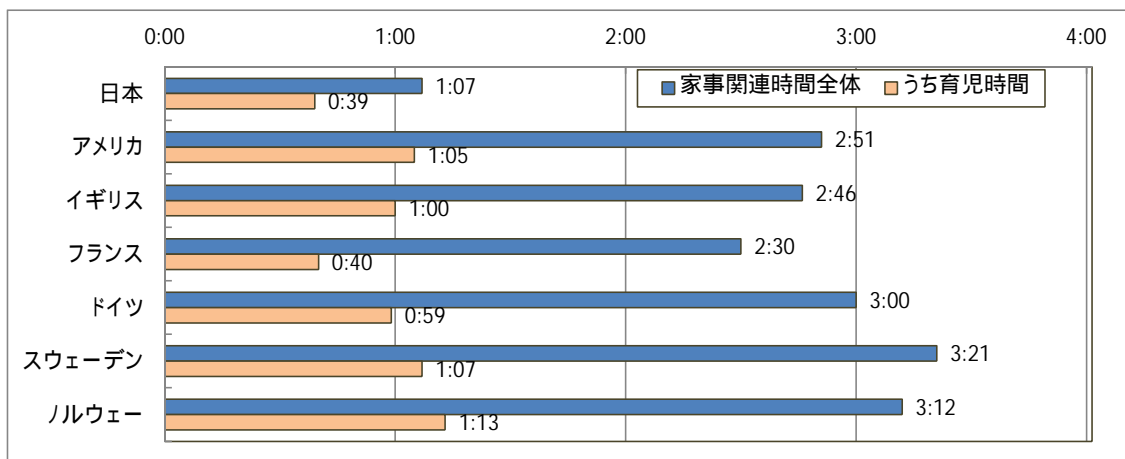


(備考) 1. 「労働力率」は、15歳以上人口に占める労働力人口(就業者+完全失業者)の割合。
 2. 米国の「15～19歳」は、16～19歳。
 3. 日本は総務省「労働力調査(基本集計)」(平成24年)、その他の国はILO“LABORSTA”、“ILOSTAT”より作成。
 4. 日本は2012(平成24)年、その他の国は2010(平成22)年の数値(ただし、ドイツの65歳以上は2008(平成20)年。)。
 資料出所:内閣府 平成25年度版 男女共同参画白書

3 家庭における男女共同参画

我が国の男性が家事や育児に費やす時間は，世界的にみても最低の水準です。

図表91 育児期にある夫の1日当たりの家事、育児時間の国際比較



参 考: Eurostat "How Europeans Spend Their Time Everyday Life of Women and Men" (2004)、Bureau of Labor Statistics of the U.S. "America Time-Use Summary" (2011) 及び総務省「社会生活基本調査」(平成23年)より作成。日本の数値は、「夫婦と子どもの世帯」に限定した夫の「家事」、「介護」、「育児」及び「買い物」の合計時間である。
 資料出所:内閣府 平成25年度版 男女共同参画白書